

令和4年度当初予算について

令和4年3月25日
オリンピック・パラリンピック推進局
開催準備課

令和4年度当初予算において

- ・大会の開催効果を生かしたスポーツ・文化に係る事業
 - ・大会に向けた取組において引き続き実施する事業
- のうち、主な事業について整理しました。(令和4年度当初予算案のうち主要な事業)

大会の開催効果を生かしたスポーツ・文化に係る主な事業

1 サーフィン競技初の開催地となったことを契機とした、千葉県の海を活かした地域活性化

<千葉の海の魅力発信事業> 95,500千円

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。

(1) 千葉の海のPRのための統一デザイン等の作成【新規】(県民生活・文化課) 3,500千円

統一感のある魅力発信を行うため、本県の伝統文化である「萬祝(まいわい)」の柄を現代的にブラッシュアップした新たなデザイン「maiwai(仮)」の作成及び千葉のイメージカラー「chiba blue(仮)」の選定等を行います。

(2) 千葉の海と水辺の魅力発信事業【新規】(報道広報課) 40,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力に注目し、効果的な手法・媒体を活用して県内外にその魅力を発信していきます。

(3) GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業【新規】(観光誘致促進課)

22,000千円

千葉県への誘客をさらに促進するため、千葉ならではの花、海、地形、建物などの思わず写真に撮りたくなるスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

(4) スポーツによる地域活性化支援事業【新規】(開催準備課) 10,000千円

東京2020大会を契機とし、スポーツの魅力が再認識されたことを踏まえ、県内の豊かな自然を活かしたサーフィンなどのスポーツと、その地域に根差す文化や食材などの魅力を組み合わせた体験ができるようにすることで、千葉でスポーツに親しむ人を増やし、地域の活性化を推進します。

[事業内容]・スポーツと地域資源を組み合わせた地域活性化モデルの作成・実証

・スポーツコンシェルジュの育成のための協議会等の開催

(5) 新しい千葉の食文化創生事業【新規】(流通販売課) 20,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながるような、個性のある新たな「千葉料理」を創出し、県産品にこだわりのある飲食店等で提供することにより、料理を介して本県の魅力を発信します。

2 パラリンピック開催を契機とする、パラスポーツの推進や障害者への理解の促進

(1) 障害者スポーツ振興事業【一部新規】(障害者福祉推進課) 54,000千円 (R3 32,265千円)

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを活用し、引き続き障害者スポーツを広く県民に周知するとともに、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。

[主な事業]

①障害者スポーツ交流大会 7,500千円

障害のある人もない人も参加できる交流試合や体験会を、千葉地区に加え新たに東葛地区でも開催し、障害者スポーツの普及を図ります。

②障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 12,200千円

地域で障害者スポーツ大会等を開催する場合や、市町村や障害者施設を運営する法人等が障害者スポーツの拠点づくりをする場合にコーディネーターを派遣して支援します。

③障害者スポーツ競技団体支援事業 5,200千円

障害者スポーツを広く県民に周知するため、障害者スポーツ競技団体が実施する競技体験会等に対し助成します。

④パラアスリート等学校訪問事業【新規】 5,445千円

県内の小中学校にパラアスリート等を派遣し、講演会や障害者スポーツ体験会の実施を通じて、障害のある人への児童生徒の理解を深めます。

⑤パラ「旅」応援事業 5,000千円

移動に困難を伴う障害のある人が障害者スポーツ観戦等を行う場合に支援します。

(2) 国際障害者スポーツ競技大会支援事業【新規】(障害者福祉推進課) 10,000千円

障害者スポーツの振興を図るため、県内で開催される世界選手権などの国際競技大会に要する経費の一部を助成します。

[補助対象事業]

- ・パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会その他これらに準ずる国際競技大会の実施競技
 - ・世界選手権やアジア選手権、パラリンピック予選大会などの国際競技大会で次のいずれかに該当するもの
 - 国際的な競技団体が主催又は開催に関与する大会
 - 国内の競技団体が主催又は開催に関与する大会で、一定規模以上の大会
 - ・大会開催地の市町村と連携した大会参加者と観客・地域住民との交流会や体験会など、障害者スポーツの認知度向上や共生社会の実現に資する取組が行われるもの
- [補助率等] 開催経費の1/4以内(10,000千円上限)
- [補助対象者] 県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

(3) 心のバリアフリー教育推進事業（教育政策課、特別支援教育課）7,300 千円（R3 14,000 千円）

児童生徒がパラスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害への理解等を身に付けられるよう、これまでのオリンピック・パラリンピックを活用した教育を無形のレガシーとして継続します。

〔主な事業〕

①地域拠点校の取組 2,800 千円

地域の方々も交え、パラスポーツや異文化交流等を実施します。

②特別支援学校の取組 1,100 千円

特別支援学校教員及び児童生徒が近隣の小・中・高等学校へ出向き、パラスポーツの紹介や試合等を行い、共に理解を深めます。

③その他の学校の取組 3,000 千円

パラアスリート等を招聘し、児童生徒がパラスポーツ等の体験を行います。

④グッドプラクティスの表彰 300 千円

令和 4 年度に優れた取組を行った学校を表彰し、県全体の更なる取組促進を図ります。

(4) パラアスリート強化・支援事業【一部新規】（体育課） 30,450 千円（R3 20,000 千円）

本県にゆかりのあるパラアスリートが、競技力向上に励めるよう、世界選手権等に出場が期待される選手を支援するとともに、新たに全国大会等で実績のあるパラスポーツチーム等に対しても支援します。

①アスリート強化支援 29,450 千円（R3 20,000 千円）

〔対象者〕 県内の学校の生徒・学生、県内在住又は在勤者 等

〔選考基準〕 日本代表選手、国内最上位大会入賞者 等

〔対象競技〕 パラリンピック実施の 28 競技

②パラスポチーム支援【新規】 1,000 千円

〔対象団体〕 県内に活動拠点があり、全国大会等での実績のあるチーム・団体

〔選考基準〕 県の強化指定選手が所属するチーム・団体、
国内最上位大会で 3 位以内のチーム・団体 等

〔対象競技〕 パラリンピック実施の 28 競技

〔支援額〕 100 千円

3 文化・スポーツの振興

(1) 「新たなスポーツ」の普及促進事業【新規】(開催準備課) 8,500 千円

あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツ(※1)やアーバンスポーツ(※2)等の「新たなスポーツ」について、普及促進を図ります。

また、体の動きに連動して画面上のアバターが動くバーチャルスポーツ等、誰もが一緒に楽しめる新しい分野のスポーツの研究に取り組みます。

※1 … 障害の有無や年齢などに関係なく、様々な人が一緒にできるレクリエーションの性質を含むスポーツ(ボッチャ、ペタンク等)

※2 … 広い競技場などを必要とせず都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ(BMX、スケートボード等)

[事業内容]・地域のスポーツクラブや市町村、学識経験者等で組織する協議会を通じたユニバーサルスポーツ等の普及促進
・バーチャルスポーツの体験会・実証実験等

(2) 千葉県競技力向上推進本部事業(体育課) 205,000 千円 (R3 200,000 千円)

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

[事業内容]

- ・国体選手等強化・サポート事業
- ・ちばジュニア強化事業
- ・スポーツ医・科学サポート事業 など

(3) ちば文化資産活用事業(県民生活・文化課)【新規】 11,000 千円

東京2020大会を契機に、本県の文化的魅力を発信するため選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」を活用し、令和5年度の千葉県生誕150周年を県全体で盛り上げる機運を醸成する事業を実施します。

[事業内容]

- ・千葉県生誕150周年記念「ちば文化資産」オリジナル記念切手作成のためのデザインコンテスト
- ・ちば文化資産追加募集(現行の111件を150周年にちなみ150件とする) など

《参 考》

(4) 地域ボランティア活動環境整備事業(県民生活・文化課)

20,000 千円 (R3.6月補正 17,000 千円)

ボランティア活動を希望する方が、関心の高い分野のボランティア情報にアクセスし、参加申込できるマッチングサイトを開設します。

また、ボランティア活動への県民参加を促進するため、活動の魅力を体感できるような体験会を開催するほか、活動の継続・定着を図るため、受入団体に対し体制整備の支援を行います。

[事業内容]

- ・マッチングサイトの開設
- ・ボランティア体験会の開催
- ・受入団体の開拓及び支援

大会の開催に向けた取組において引き続き実施する主な事業

- (1) 鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助（交通計画課） 80,000 千円（R3 330,000 千円）
（債務負担行為 235,000 千円）

高齢者や障害者をはじめ、誰にでも利用しやすい駅を目指し、エレベーターやホームドアの設置等のバリアフリー設備の整備について、その経費の一部を補助します。

[補助対象経費]

鉄道事業者又は市町村が設置するバリアフリー設備（エレベーター等昇降施設、ホームドア等）の整備に対する市町村の実負担額（国の補助金等を除く額）

[補助率] 1/2～1/4

[実施内容]

- ・エレベーター等昇降施設 80,000 千円（R3 10,000 千円）（債務負担行為 24,000 千円）
- ・ホームドア なし（R3 320,000 千円）（債務負担行為 210,000 千円）
- ・内方線付き点状ブロック なし（R3 なし）（債務負担行為 1,000 千円）

- (2) 福祉タクシー導入促進事業（健康福祉指導課） 70,000 千円（R3 70,000 千円）

高齢者や障害者など、交通弱者の交通手段の確保充実を図るため、福祉タクシー車両導入に必要な経費を助成します。

[補助対象] 福祉タクシー購入経費

[補助率] 1/3

[上限額] スロープ車：600 千円/台、リフト装着車：800 千円/台

- (3) ノンステップバス等整備事業補助（交通計画課） 28,000 千円（R3 28,000 千円）

乗合バス車両におけるノンステップバス等の導入を促進するため、導入費用の一部を助成します。

[補助対象経費]

ノンステップバス等の車両本体及び車載機器類の設備の導入に要する経費

[補助金額]

下記のうちいずれか少ない額（国の補助上限額を限度）

- ・補助対象経費 × 補助率 1/4
- ・（補助対象経費－通常車両価格） × 1/2

- (4) 観光地魅力アップ整備事業（観光企画課） 150,000 千円（R3 280,000 千円）

国内外から訪れた方々の満足度を高めるため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所、観光案内板等の新設・改修などについて、その経費の一部を助成します。

[事業内容]

- ・市町村施設

補助率：1/2 以内

補助上限額：7,500 千円（観光案内板については1,000 千円/基）

- ・民間施設

補助率：1/3 以内（市町村補助 1/6 と合わせて 1/2）

補助上限額：4,000 千円（観光案内板については1,000 千円/基）